

枝川博士の第2回日本建築講座 「日本建築の特質そして創造性の根底にあるもの」

2017年7月15日（土）実施 JGA 第一支部研修 終了レポート

今年2月12日に行った研修の第二弾として「枝川博士の日本建築講座」が7月15日（土）12:40～16:30に台東区民会館9階特別会議室（大）にて行われました。講師はJGA正会員で一級建築士、さらに2016年に東京大学より「Distinctive Features of Japanese Architecture and What Is at the Root of Japanese Creativity」（英語論文）で博士号を授与された枝川裕一郎氏です。



北海道や愛知県、関西からのご参加もあり総勢58名（会員52、非会員4、委員2）、でした。第1部は、前回実施分のおさらい、第2部はその続きの部分を、いずれも豊富なカラー写真を用いてご講義頂きました。

第1部は、全12項目で「日本人の創造性の特質」及び「日本建築の構成の特質」について解説されました。自然との共生、素材に対するこだわり、装飾を排した簡潔性、木の匠と匠の技、二極性と多様性、並立共立の精神、非対称性、建て増し文化、小空間への傾注、有機的形態、奥の概念、全容を見せない日本人の創造性の特質など、私達に馴染み深い全国の観光施設や海外の観光施設の建物が例として取り上げられ、そう言われてみれば！の連続でありました。



第2部は、「日本建築の創造性の根底にあるもの」として、部分が全体に先行する「今＝ここ」主義、構成原理、また「部分から全体へ」がもたらすもの」として事例スタディーそして講師自らが設計された「二番町ガーデン」（都内千代田区）も例に取り上げられました。

ベテランのガイドさん達が「とても勉強になった」とおっしゃって大満足された当研修は、関西でも8月12日に開催。また当講義の内容のベースとなった枝川博士の著書「日本建築の特質と心 創造性の根源を探る」（鹿島出版会）が最近発行されました。あの有名な隈研吾さんもお推薦の本ですので、研修にご参加されなかった方々には是非お勧めします。（以上）

